

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	止水板設置助成事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができていないまち								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業		
事業期間	2014(H26)年度			年度	~		年度まで				
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称	止水板設置費補助金						サンセット	2017(H29)年度		2019(R1)年度	
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		止水板の購入及び設置関連工事を行う市民及び市内事業者								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		市民・事業者の自助による浸水対策が進んでいない								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民・事業者の自助による浸水対策が推進され、内水被害等が防止又は軽減されている。										
事業概要	<p>住宅・店舗等の浸水被害を軽減することを目的とした、止水板の購入及びその設置に伴う関連工事を行う者に、費用の一部を助成する。なお、「枚方市止水板設置工事助成金交付要綱」を作成する。</p> <p>1. 助成額 止水板の購入及び設置工事等に要した費用の2分の1とし、一敷地に対して50万円を限度とする。(千円未満切り捨て)</p> <p>2. 助成対象とする工事 止水板の購入及びそれに伴う工事一式</p>										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル		助成金の活用により浸水対策が進む。				止水板の設置が進む。				枚方市止水板設置工事助成金の交付対象工事を行う者に、費用の一部を助成する。				
指標設定	指標説明	止水板が設置されている建築物件数に対する、床上浸水が把握された(災害見舞金支給件数)建築物件数				止水板等設置件数				助成金申請件数				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	単位	件			単位	件			単位	件			
		目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3
	達成度	100%				133%				133%				
分析	止水板が設置されている建築物件数に対する、床上浸水が把握された(災害見舞金支給件数)建築物件数はなかった。				昨年度は実績0であったが、R3年度は予定を上回って設置があった				昨年度は実績0であったが、R4年度は予定を上回って申請があった					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	241	239	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	241	239	2,357		
	物件費計	0	0	1,230	1,370	90%
	歳出計	241	239	3,587		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,230	1,370	
	歳入計	0	0	1,230	1,370	
	一般財源	241	0	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	止水板設置費補助制度については、令和2年度の申請は0件であったが、防災ガイドで止水板についての記事を掲載したこと等により、申請件数が増加した。今後も、市民がより使いやすい制度となるよう努める。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	制度創設時と比べ、現在は簡易的な止水板など様々な種類があるため、市民に対しこれらを紹介するとともに、市民が自ら浸水への対応に取り組んでもらえるよう啓発を進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													消防施設等整備補助事業						
測定年度		2021(R3)年度			部		危機管理部			課		危機管理対策推進課							
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4									
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち															
		施策目標		1.災害に対する備えができています															
		実行計画名		1-2.防災対策の推進															
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業							
事業期間		1979(S54)年度			年度		~				年度まで								
根拠法令等		消防施設等整備補助金交付要綱																	
関係補助金名称		消防施設等整備補助金						サンセット		2020(R2)年度		-			2022(R4)年度				
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		自治会、自主防災組織等の住民組織															
		サブターゲット		枚方市民															
		ターゲットが抱える課題		火災等の災害時に、効果的にその機能を発揮できるよう、消防施設等を整備する必要があります。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市内で適切に消防施設が整備されている状態																	
事業概要		消防ポンプ庫や火の見やぐらの新築、改築、サイレン・ホース乾燥器具等機器の修理、貯水槽、防火水槽の新設や増設等の整備を行う住民組織に対し、補助金を交付することにより、消防施設の整備を促進し、もって市民の生命及び財産の確保に資することを目的とする。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		地域の消防力が強化される				消防施設等が整備される。				自治会、自主防災組織等、消防施設を整備する者に対し、補助金を交付する。									
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		指標説明		消防施設等整備件数【累計 令和元年度より】				消防施設等整備件数				補助金交付申請件数							
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標(見込み)		1		2		3		4		1		1		1		1	
		実績		1		2						1		1					
達成度		100%				100%				100%									
分析		R3年度は、山田分団都丘班車庫の修繕工事を適正に実施した。				R3年度は、山田分団都丘班車庫の修繕工事を適正に実施した。				R3年度は、山田分団都丘班車庫の修繕工事を適正に実施した。(299千円)									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	1,595	2,357		
	物件費計	1,000	700	299	800	37%
	歳出計	2,603	2,295	2,656		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	2,603	700	299	800	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	消防団車庫等の消防施設について、今後老朽化による修繕や建替え、また車両更新に伴う改築等も見込まれるため、地域から相談があった際には、速やかに対応する必要がある。また、日頃から各分団の消防団員による施設の点検を行う等、施設の長寿命化にも努めていく。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、消防施設等の整備に努める

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	消防団運営事務										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名		1-1.防災体制の充実								
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	消防組織法										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		枚方市消防団及び消防団員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		災害時に備え、常備消防に協力して市民の生命・身体及び財産を火災等の災害から守る消防団の充実強化を図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	消防団員数の増加等により消防団組織力が強化されている。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員が火災などの出動及び訓練や啓発活動を行ったときの費用弁償の支払い</li> <li>車両の整備・更新や活動服等の貸与を通じた装備面の充実</li> <li>消防団幹部会議の運営に対する事務的なサポート等を行い、消防団の円滑な運営を図り災害時に備え消防力の充実強化を推進する。</li> </ul>										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						消防団の運営が円滑に進み、活動が活発化する。				消防団の運営に係る事務を実施する。		
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				消防団員の訓練や啓発活動の従事人数				消防団幹部会議の運営事務 (開催回数)			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				人				回			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値 (見込み)				7,000	7,100	7,200	7,300	7	7	7	7
実績				1,014	3,478			7	7			
達成度				48%				100%				
分析				令和3年度も、新型コロナの影響により、大規模な訓練や消防大会等は中止となった。				消防団幹部会議については、予定どおり全て実施された。(4、7、8、9、12、2、3月)				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,112	21,053	17,516		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	20,112	21,053	17,516		
	物件費計	71,953	76,352	40,292	49,196	84%
	歳出計	92,065	97,405	57,808		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	18,357	1,915	3,587	3,584	
	歳入計	18,357	1,915	3,587	3,584	
	一般財源	73,708	74,437	36,705	45,612	

5. 総括的分析

総括的分析	消防団管理運営事務については、年間を通して適切に実行できたが、年々減少する消防団員について、「団員確保」と言う課題が残っている。引き続き、消防団と連携しながら、消防団のイメージアップや若者が入団しやすい工夫等についての研究が必要である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も様々な場面で消防団のPRを行うとともに、団員確保に向け、様々な工夫をしていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	防災備蓄倉庫施設維持管理事務										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	危機管理部			課	危機管理対策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	1990 (H2) 年度			年度	~	年度まで					
根拠法令等	災害対策基本法										
関係補助金名称							サンセット	-			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		調査・動員・物資・対策班及び危機管理室の職員								
	サブターゲット		自然災害の発生に備え、市民全員を対象としている。								
	ターゲットが抱える課題		災害時に、必要な食料や資材を市民に円滑に提供するため既存の防災倉庫を適切に維持管理する必要がある								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	大規模災害発生時に遅滞なく、安全に防災備蓄倉庫から必要物資を搬出することができる。										
事業概要	<p>【施設の概要】</p> <p>名称: 枚方市防災備蓄倉庫          所在地: 枚方市朝日丘町2番17号建築          面積: 約180㎡          延床面積: 約360㎡          建築構造: 鉄骨造2階建</p> <p>【活動の概要】</p> <p>・警備委託 ・電気設備委託 ・昇降機設備管理委託</p>										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					防災備蓄倉庫が適正に維持管理されている。				防災備蓄倉庫の保守点検等を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				防災備蓄倉庫の保守点検等を月1回程度行う。			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値 (見込み)				100以内 100以内 100以内 100以内				12 12 12 12			
	実績値				61 0				12 12			
達成度				0%				100%				
分析				防災備蓄倉庫の修繕等はなかった。				月1回の各種保守点検は適正に実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	7,257	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	7,257	7,857		
	物件費計	993	5,659	1,498	1,534	98%
	歳出計	2,596	12,916	9,355		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,596	5,659	1,498	1,534	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	防災備蓄倉庫について適切に設備の維持管理を行った。また倉庫内にある備蓄品等について整理を行い、災害時に円滑に活用できるよう適正に管理を行った。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、維持管理に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													枚方寝屋川消防組合負担金交付事業												
測定年度			2021(R3)年度				部			危機管理部				課		危機管理対策推進課									
市長公約との関係			所信表明				市政運営方針			R2		R3		R4											
総合計画体系			基本目標				1.安全で、利便性の高いまち																		
			施策目標				1.災害に対する備えができています																		
			実行計画名																						
1. 事務事業の概要																									
種類			内部管理				特性			内部事務				区分		一般内部管理事務									
事業期間			1948(S23)年度				年度		~				年度まで												
根拠法令等			枚方寝屋川消防組規約																						
関係補助金名称							サンセット																		
関係附属機関名称																									
事業対象			メインターゲット				枚方寝屋川消防組合																		
			サブターゲット																						
			ターゲットが抱える課題				本市における総合的消防力(消防・救急・予防)を整備強化するため枚方寝屋川消防組合との連携強化を図る必要がある。																		
			ターゲットが抱える課題																						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)			枚方寝屋川消防組合との連携強化により本市における総合的消防力が高まっている状態。																						
事業概要			枚方寝屋川消防組合への運営負担金の支払及び派遣職員(2人)に係る人件費負担金の支払を行う。																						
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
							枚方寝屋川消防組合との連携強化により総合的消防力が高まる。				枚方寝屋川消防組合への運営負担金及び派遣職員(2人)に係る人件費負担金を交付する。														
指標設定			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
			指標説明				年間の負担金交付金額の当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				年間の負担金交付回数														
			指標種類				単位		単位		%		単位		回										
							減少することが良いとされる指標																		
			指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5						
			目標(見込み)										100以内		100以内		100以内		100以内						
実績										97.10		98.90													
達成度											100%														
分析							枚方寝屋川消防組合、枚方市消防団、危機管理室3者での情報共有等を活発に行い連携強化に努めた。				枚方寝屋川消防組合負担金年間収入計画に基づき、適正に執行した。														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,215	1,595	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	7,215	1,595	1,571		
	物件費計	4,316,330	4,214,911	4,257,893	4,257,894	100%
	歳出計	4,323,545	4,216,506	4,259,464		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	1,590	1,700	1,182	1,602	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	1,590	1,700	1,182	1,602	
	一般財源	4,321,955	4,213,211	4,256,711	4,256,292	

5. 総括的分析

令和3年度枚方寝屋川消防組合負担金年間収入計画に基づき、月例処理を適正に執行した。今後も遅延なく、月例処理の執行を適切に行うとともに、枚方寝屋川消防組合予算の動き(補正)等も注視しておく。また、日頃から枚方寝屋川消防組合との連携強化に努め、本市の防災力・消防力を高めていく

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方寝屋川消防組合との連携強化に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	自主防災組織育成事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	危機管理部				課	危機管理対策推進課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		1.災害に対する備えができていくまち											
	実行計画名		1-1.防災体制の充実											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1997(H9)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	災害対策基本法												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		市内各校区の自主防災組織										
	サブターゲット		市内各自治会の自主防災組織										
	ターゲットが抱える課題		自主防災組織の活動を充実させるには、防災訓練の支援や防災情報の提供等(先進事例の共有)が必要である										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	全ての校区(校区を構成する自治会)の自主防災活動が活発に行われ、地域の防災力が向上している。												
事業概要	<p>枚方寝屋川消防組合等と連携し、自主防災組織等行う防災訓練や避難所運営訓練等に対し支援を行う。「枚方市自主防災組織ネットワーク会議」を開催し、自主防災組織、枚方市及び防災関係機関が防災情報等を交換する場を設け、自主防災組織の育成、地域の自主防災活動の推進を図る。</p> <p>また、地域防災力を高めるためには、地域で支援し合えるよう、あらかじめ準備し、その実効性を高めることが必要であり、自治会館の避難所利用の支援等を通して、共助の活動を活性化し、災害対策基本法が規定する地区防災計画の策定を推進していく。</p>												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	地域の防災力が向上する。				自主防災組織の活動が活発に行われる。				自主防災組織等が行う防災訓練や避難所運営訓練等を支援する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				各校区の自主防災訓練の実施回数(延べ回数)				各校区で行われる自主防災訓練の際の支援(資器材の貸し出しや消防関係との調整等も含む)。			
	単位 人				単位 回				単位 回			
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み) 9,000 9,000 9,500 9,500				48 48 50 50				60 60 60 60			
	実績 714 1,712				21 29				21 29			
達成度 19%				60%				48%				
分析				昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練を12校区で実施した。その他の校区については、大人数の訓練ではなく、少人数での防災講座の実施が多かった。				昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練を13校区で実施した。その他の校区については、大人数の訓練ではなく、少人数での防災講座の実施が多かった。訓練等では物資提供や資器材の支援を行った。				
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	地域の防災力が向上する。				自主防災組織と枚方市及び防災関係機関による情報交換が活発に行われる。				枚方市自主防災組織ネットワーク会議を開催する。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				枚方市自主防災組織ネットワーク会議 参加校区数				枚方市自主防災組織ネットワーク会議の開催回数			
	単位 人				単位 校区				単位 回			
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み) 9,000 9,000 9,500 9,500				45 45 45 45				2 2 2 2			
	実績 714 1,712				45 45				2 2			
達成度 19%				100%				100%				
分析				新型コロナウイルス感染症により、ネットワーク会議は2回(6月、1月)とも書面会議とした。(全校区へ資料送付)				新型コロナウイルス感染症により、ネットワーク会議は2回(6月、1月)とも書面会議とした。(全校区へ資料送付)				

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	地域の防災力が向上する。					各校区、自治会で地区防災計画を策定する					地区防災計画の策定を支援する				
指標設定③	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				地区防災計画策定数(校区、自治会)				地区防災計画の策定支援件数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込)	9,000	9,000	9,500	9,500	4	18	20	22	4	18	20	22		
	実績	714	1,712			0	22			3	22				
	達成度	19%				122%				122%					
	分析	コロナ禍ではあるが、昨年度に比べると、自主防災訓練を実施する校区がやや増加した。				計画策定に向けた助言等を行ったことにより目標以上に策定する校区が増加した。				計画策定に向けた助言等を行ったことにより策定する校区が増え、支援も増加した。					
ロジックモデル④	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
	地域の防災力が向上する。					災害時に、自治会の地区防災計画に基づき届出避難所が開設される。					自治会館の避難所利用を希望する自治会から届出書及び地区防災計画を受理し、支援物資などを提供する。				
指標設定④	指標説明	各校区の自主防災訓練の訓練参加者数				枚方市が発令した避難情報(土砂・各河川)に該当する届出避難所のうち、実際に開設に至った届出避難所の割合				届出避難所登録制度に基づく支援自治会件数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込)	9,000	9,000	9,500	9,500	-	100	100	100	-	10	12	14		
	実績	714	1,712			-	0			-	13				
	達成度	19%				0%				100%					
	分析	コロナ禍ではあるが、昨年度に比べると、自主防災訓練を実施する校区がやや増加した。				避難情報の発令はあったが、届出避難所の開設はなかった。(制度が10月1日開始のため)				13自治会に対し、届出避難所の登録を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,620	9,570	9,428		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,620	9,570	9,428		
	物件費計	181	260	251	270	105%
	歳出計	9,801	9,830	9,679		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	9,801	260	251	270	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	昨年度はコロナ禍の影響で、地区防災計画の地域内議論が思うように進まなかったが、少しずつ地域の活動も戻り、複数の計画策定支援に着手できた。自主防災訓練(総合訓練、個別訓練)については、中止とする校区が多かったが、昨年度に引き続き、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営訓練」を実施し、45校区中12校区が実施した。また、大人数の訓練ではなく、少人数での防災講座等の依頼が多い傾向があった。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、地区防災計画の策定支援を進めるとともに、訓練や防災講座等の活動を行っていない校区への呼びかけも行っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													地域防災推進員育成事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		危機管理部			課		危機管理対策推進課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標		1.災害に対する備えができています												
		実行計画名		1-1.防災体制の充実												
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事业			区分		一般事務事業				
事業期間		2010(H22)年度			年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		市内各校区の自主防災組織からの選出者及び一般公募による参加者												
		サブターゲット														
		ターゲットが抱える課題		自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担い、災害時に救助や消火等を実施する人材育成の機会が必要												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		自助・共助による防災対策の重要性が地域全体に普及され、災害時の救助や消火等を地域住民が率先して行っている状態。														
事業概要		各校区自主防災組織の選出者と一般公募による参加者を対象に、防災に関する知識と技能を習得するための外部講師による座学や、消防吏員の指導による救出・救助用資機材や消火器の取扱い方法などの実技を行う、地域防災推進員育成研修会を開催する。  【地域防災推進委員】地域住民一人ひとりの防災対策の重要性を地域全体に普及するとともに、いざという時には自助・共助の精神で人命救助や応急消火等を行える人材を育成し、継続的かつ効果的な地域防災力の向上を目指す。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		自助・共助による防災対策の重要性が地域全体に普及される。				地域防災推進員育成研修会の修了生が増加する。				地域防災推進員育成研修会を開催する。						
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		指標説明		地域防災推進員育成研修会修了者数【累計】				地域防災推進員育成研修会の修了者数				地域防災推進員育成研修会の開催回数				
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				
		達成度		81%				39%				100%				
		分析		R3年度はコロナの影響から、受講人数を各校区2人→1人とし、研修日を2日→1日とし実施した。				R3年度はコロナの影響から、受講人数を各校区2人→1人とし、研修日を2日→1日とし実施した。				12月4日に地域防災推進員育成研修会を適正に実施した。				
				単位 人				単位 人				単位 回				
		950 1,040 1,130 1,220				90 90 90 90				1 1 1 1						
		803 838				0 35				0 1						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.40
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,736	5,698	8,280		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,736	5,698	8,280		
	物件費計	476	297	243	392	71%
	歳出計	6,212	5,995	8,523		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,212	297	243	392	

5. 総括的分析

総括的分析 地域防災の担い手が減少する中、自助・共助による防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担う人材を育成するために必要な研修であるが、コロナ禍での研修内容の見直し(応急講習や傷病者搬送等の実技指導は指導員と受講者が密着するため)や、過去の受講者へのフォローアップや働きかけについても検討が必要である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ禍での研修内容の見直し(応急講習や傷病者搬送等の実技指導は指導員と受講者が密着するため)を行う。また、過去の受講者へのフォローアップや働きかけについても検討する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称		防災対策事業(危機管理対策推進課)												
測定年度	2021(R3)年度				部	危機管理部				課	危機管理対策推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標		1.災害に対する備えができているまち											
	実行計画名		防災体制の充実											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性	非選択的的事业				区分	非選択的の事務事業			
事業期間	1982(S57)年度				年度	~				年度まで				
根拠法令等	災害対策基本法													
関係補助金名称											サンセット			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		全職員(災害対応に従事)											
	サブターゲット		枚方市に在住する市民及び事業者											
	ターゲットが抱える課題		災害から市民生活の安全・安心の確保を図るため、職員の災害対応能力を高める必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	災害発生時に、市役所及び職員が災害対応能力を発揮し、市民生活の安全・安心が確保されている。													
事業概要	庁内の全部署を対象とした災害対策本部訓練や、防災備蓄品及び耐震性貯水槽等の維持管理等を行い、災害発生時に市民生活の安全・安心の確保を図る。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					災害時に市民に必要な物資を配付し、安全・安心を確保する。				災害時に備え、防災備蓄品の整備及び保存期限の切れる備蓄品の更新を行う。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		単位		枚方市備蓄目標量(重要物資備蓄品の備蓄量)達成率		単位		%		防災備蓄品の整備及び保存期限の切れる備蓄品の更新を行う回数。		単位	
	【算出式:アルファ化米と毛布の備蓄量/備蓄目標量×100】				増加することが良いとされる指標								回	
	指標種類													
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100	100	100	100	1	1	1	1
	実績						127.10	100			2	1		
達成度						100%				100%				
分析						重要物資備蓄品(11品目)の目標備蓄量を全て達成した。				朝日倉庫、きらら備蓄倉庫、サブリ村野等において防災備蓄品のローリングを適正に行った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.30
任期付職員	0.60
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	45,623	46,922	20,681		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	45,623	46,922	20,681		
	物件費計	1,062,264	454,133	96,845	66,111	84%
	歳出計	1,107,887	501,055	117,526		
歳入	国庫支出金	12,750	0	18,329	24,850	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	611,400	0	0	0	
	その他	0	0	6,358	8,344	
	歳入計	624,150	0	24,687	33,194	
	一般財源	483,737	454,133	72,158	32,917	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、避難所における衛生資機材であるパーティション、簡易ベッド等を追加購入し、防災備蓄品の充実を図った。また、各種倉庫で管理している防災備蓄品についても、倉庫内の整理整頓を行い改善に努めた。アルファ化米(炊き出し用)については、コロナ禍で地域での炊き出し訓練が行えなかったため、期限切れが迫った備蓄品を社会福祉協議会や子ども食堂等で活用した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、必要な物資の確保、適正な管理に努めていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域安心安全ネットワーク事業											
測定年度	2021(R3)年度				部	危機管理部				課	危機管理対策推進課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち									
	実行計画名		2-2.災害時の情報通信体制の整備									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事业		区分		一般事務事業			
事業期間	1990(H2)年度				年度	~				年度まで		
根拠法令等	災害対策基本法											
関係補助金名称	サンセット											
関係附属機関名称	枚方市防災会議											
事業対象	メインターゲット		枚方市に在住する市民及び事業者									
	サブターゲット		枚方市に通勤、通学している方									
	ターゲットが抱える課題		災害時に適切に情報発信・提供(雨量情報や避難情報)を行う必要がある									
	ターゲットが抱える課題		スマホ等の情報端末を有さない市民に対して、E-mailやSNS等以外で避難情報等を発信する必要がある。									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	災害時に、機器のトラブルがなく、必要な情報発信・提供(雨量情報や避難情報)を確実に実施できている状態。(スマホ等の情報端末の保有如何に関わらず、避難行動要支援者を含めた、すべての市民に避難情報等が伝達されている状態。)											
事業概要	<p>①防災行政無線システム(同報系・地域防災系)の保守点検の実施。</p> <p>②気象情報システム、土石流予警報装置、計測震度計等により日々情報収集及び情報発信を行えるよう保守点検を実施。</p> <p>③機器に故障箇所等があれば、速やかに補修を行う。</p> <p>④スマホ等の情報端末を有さない市民に対しては、プッシュ型の情報伝達手段が屋外拡声子局しかないため、情報発信手段の多重化が必要である。実際になんらかの避難行動が必要である、土砂災害警戒区域、浸水想定区域内に居住している方の内、PCや携帯電話などの端末を有さない方を最優先の対象として、新たに自動音声配信電話を災害情報伝達手段として導入する。</p>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	災害への備えにつながっている。				防災行政無線システム、気象情報システムなどの機器が適正に管理されている。				防災行政無線システム、気象情報システムなどの機器の保守点検を実施する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合 【算出式:{(エリアメール・緊急速報メール発信回数/避難情報発令回数)+(自動音声配信サービス発信回数/避難情報発令件数)}÷2×100】				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				機器の保守点検を実施し、定期的な導通訓練(年5回)Jアラート訓練、緊急地震速報訓練の実施回数			
	単位				単位				単位			
	%				%				回			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
目標(見込み)	100	100	100	100	100以内	100以内	100以内	100以内	5	5	5	5
実績	100	100			94.80	92.60			5	5		
達成度	100%				93%				100%			
分析	避難情報を適切に行った				各種システムの保守点検を適正に実施した				Jアラート、Lアラート訓練等適正に実施した。			
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	災害への備えにつながっている。				スマホ等の情報端末非保有者でかつ土砂災害警戒区域、浸水想定区域に住んでいる方を対象として自動音声配信電話サービスが適切に提供される。				スマホ等の情報端末非保有者でかつ土砂災害警戒区域、浸水想定区域に住んでいる方を対象として自動音声配信電話サービスを構築する。			
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合 【算出式:{(エリアメール・緊急速報メール発信回数/避難情報発令回数)+(自動音声配信サービス発信回数/避難情報発令件数)}÷2×100】				自動音声配信電話サービスの提供件数				多様な情報伝達手段の配備件数			
	単位				単位				単位			
	%				件				件			
	指標種類				指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
目標(見込み)	100	100	100	100	-	100	200	500	-	9	10	10
実績	100	100			-	26			9	10		
達成度	100%				26%				100%			
分析	避難情報を適切に行った				令和3年度の申請者は26人であった				情報伝達手段として自動音声配信電話が追加された			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,717	4,157	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,717	4,157	7,857		
	物件費計	17,623	20,324	9,658	10,423	93%
	歳出計	21,340	24,481	17,515		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	677	1,510	
	歳入計	0	0	677	1,510	
	一般財源	21,340	20,324	8,981	8,913	

5. 総括的分析

総括的分析 災害時等における市民への情報伝達手段である防災行政無線等について、適切に設備の維持管理に取り組んだ。また、全国で一斉に行われるJアラート訓練等を通じて、実災害を想定した操作の確認を行った。令和3年度は、自動音声配信電話や公式LINEに防災コンテンツも追加し、防災気象情報や降水量予測等について、市民に必要な情報発信を行えるよう情報収集手段を確保している。今後も引き続き、災害時等において、ホームページやSNSなどを活用し、幅広く、また速やかに市民に必要な情報を伝達できるよう体制を整備していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、訓練を実施し、機器等のトラブルに迅速対応するとともに自動音声配信電話サービスについては、より利用しやすい制度に充実強化していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													災害情報システム整備事業						
測定年度		2021(R3)年度			部		危機管理部			課		危機管理対策推進課							
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4									
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち															
		施策目標		2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち															
		実行計画名		災害時の情報通信体制の整備															
1. 事務事業の概要																			
種類		内部管理			特性		内部事務			区分		一般内部管理事務							
事業期間		2014(H26)年度			年度		～				年度まで								
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称					サンセット														
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		枚方市職員															
		サブターゲット																	
		ターゲットが抱える課題		災害発生時、市民(被災者)からの被害通報に対して、迅速に対応する必要がある															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市民(被災者)への電話対応・災害対応を迅速かつ効率的に実施し、市民の生命・財産を守る																	
事業概要		市民の安全・安心を高めるため、迅速で正確な対応を行えるよう災害情報システムを導入するとともに、災害時に円滑にシステムを利用できるよう訓練・研修を実施する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
						職員の災害情報システム操作の理解が進む				災害情報システムの運用手順の見直しやシステム改修、職員向けのシステム操作訓練・研修を実施する。									
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)									
		指標説明				研修受講者数				システム操作訓練の実施回数									
		指標種類		単位		単位		人		単位		回							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標(見込み)										3		3		3		3	
		実績						102		100		2		3					
		達成度						250%				100%							
分析						職員に対し災害情報システム操作研修を実施したことで、システム操作の理解を深めることができた。				システム操作訓練を適正に実施した									

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,013	5,981	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,013	5,981	7,857		
	物件費計	19,019	8,286	6,600	6,602	100%
	歳出計	25,032	14,267	14,457		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	25,032	8,286	6,600	6,602	

5. 総括的分析

総括的分析 災害情報システムを導入して5年以上が経過したため、各部のシステムに対する熟度は高まっているものの、部署の異動があれば、システム上で利用する機能が変わってくるため、研修については引き続き実施していく。例年のシステム研修は、本部事務局員対象に1回、各部の災害情報システム利用者向けに1回、図上訓練の直前システム研修として1回の合計3回を実施した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き適正に研修を実施していく

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													危機管理対策推進課運営事務												
測定年度			2021(R3)年度				部		危機管理部				課		危機管理対策推進課										
市長公約との関係			所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4														
総合計画体系			基本目標		9.施策体系外																				
			施策目標		99.施策体系外																				
			実行計画名																						
1. 事務事業の概要																									
種類			内部管理				特性		庶務的事務				区分		庶務的内部管理事務										
事業期間			R4年度(2022年度)				年度		~						年度まで										
根拠法令等			決裁																						
関係補助金名称			サンセット																						
関係附属機関名称																									
事業対象			メインターゲット		庁内組織等																				
			サブターゲット																						
			ターゲットが抱える課題																						
			ターゲットが抱える課題																						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)			危機管理対策推進課の運営に係る事務が円滑に遂行されている。																						
事業概要			危機管理対策推進課の運営に係る庶務的事務の対応																						
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
指標設定			アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)														
			指標説明		単位		単位		単位																
			指標種類																						
			指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5									
			目標(見込み)																						
			実績																						
達成度																									
分析																									

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	2,357		
	物件費計	—	—	33,719	33,960	99%
	歳出計	—	—	36,076		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	33,719	33,960	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	課内の運営事務を適正に執行するとともに、庁内の関係部署や消防等関係行政機関との連携を図り、災害時や緊急時の体制整備に努める。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きより効率的な事務執行に努める。